

女性の活躍 応援します

女性の活躍は、女性だけでなく、日本社会の在り方を変える

政府は「すべての女性が輝く社会づくり本部」において、「女性活躍加速のための重点方針2019」を策定しました。薩摩川内市でも女性参画拡大に向けた取組として、社会の課題解決を主導する女性の育成や、女性活躍のための環境整備など、さまざまな取組に力を入れていきます。

薩摩川内市 女性職員の活躍の推進に関する特定事業主行動計画を策定しました

女性に対する採用・昇進等の機会の積極的な提供及びその活用と性別にとられない役割分担への配慮、ワークライフバランスの実現に向け本人の意思が尊重されることを基本原則として、薩摩川内市では平成28年4月に特定事業主行動計画を策定しました。女性の活躍を推進し、実効性のある取り組みを行っていきます。

出産・育児も安心！充実した職場環境

出産については、産前産後の休暇制度、育児休業制度が整っています。また、その後の職場復帰や引き続きキャリアを積んでいただくことについても、組織全体でバックアップしています。女性が輝く社会づくりを目指して、性別にとられない昇任昇格などのキャリアプランにも取り組んでいます。

育児休業

3歳未満の子の養育

産前・産後休暇

出産前後8週間が対象

子の看護休暇

年間5日 中学3年生まで

保育休暇

1歳まで、1日2回30分以内授乳等

健康診査・保健指導休暇

妊娠中又は出産1年以内

健康保持休暇

妊娠中の休息・補食・通勤等必要な期間

短期介護休暇

年間5日 配偶者・父母・子などの介護

次世代育成支援「薩摩川内市特定事業主行動計画」

仕事と家庭生活と地域活動の両立を目指して、薩摩川内市では平成17年より薩摩川内市特定事業主行動計画を策定しています。平成27年4月には第3次計画を策定し、さらなる充実を目指して、職員のワークライフバランスを応援します。

インタビュー with 先輩女性職員！！

いろいろ聞いちゃいました

現在のお仕事の内容は？

——企画政策部行政改革推進課で、市民目線の行政サービスの向上や内部業務の改善・効率化に向けた組織改革などに取り組んでいます。

どうして市役所職員になろうと思ったのですか？

——このまちが好き、という理由からです。自宅近くに川内川があり大きなこの川に親しみを持って育ちました。川沿いの景色とそれに続く街並みがとても好きで、このまちのために働きたいと考えたことがきっかけです。

ご自身は結婚、出産、育休を経験されましたが、育児休暇を取得する際、また復帰する際に不安などありませんでしたか？

——産休前・復帰後に衛生管理者の面談があり、相談できたので不安はありませんでした。1人目の時は休暇取得前と同じ部署への復帰で、新たな生活のリズムを整えやすかったです。2人目の時は、新たな部署ではありましたが、周囲の協力をもらいながらスムーズに復帰することができました。

ご自身のキャリアデザインをどのように考えられますか。

——市役所は定期的な人事異動があるため、幅広い分野を経験できるのが魅力だと思います。国県の職員との交流で、スキルの習得の重要性を痛感しました。それからは毎年、研修を受講しています。今年1月には、自治大学校での研修を受講させていただきました。研修等の機会が多くあるので、積極的に受講しスキルアップしながら、業務に活かしていきたいです。

ご自身のワークライフバランスはどのような感じですか。

——家族との充実した時間を過ごすことを大切にしています。業務に対する責任がありますので、定時で帰れないこともありますが、めりはりをつけて生活と仕事をバランスよく、充実したものにしていきたいです。

最後に薩摩川内市役所を目指す女性の方へメッセージを

——市役所は、サービスを提供する場であり、いわゆる「サービス業」です。やりがいや充実感を感じられる働きがいのある職場です。「みんなが住みたい、住み続けたいまちづくり」を目指して、一緒に働きましょう！



(平成10年度入庁、一般事務職)